

さくらんぼ産地再生フォーラム 開催要領

1 目 的

令和7年度のさくらんぼ生産については、主力の「佐藤錦」の開花期間中の強風、降雨、低温のため、訪花昆虫の活動が鈍く、全般的に結実が少なくなった。令和6年から2年続けての不作となったことで、消費者や市場関係者からの信頼が揺らいでおり、安定生産が喫緊の課題となっている。

そこで、安定生産への意識醸成を図るため、訪花昆虫の生態と管理方法、結実対策の優良事例・対策技術について学ぶさくらんぼ産地再生フォーラムを開催する。

2 日 時 令和8年1月21日（水） 午後1時～午後4時

3 場 所 山形国際交流プラザ 山形ビッグウィング 2階大会議室（オンライン併用）

4 主 催 山形県、山形さくらんぼブランド力強化推進協議会

5 参集範囲

県内生産者、全農山形県本部、農業協同組合、市場協会・流通関係団体、市町村、県

6 内 容

(1) 冒頭

さくらんぼ産地再生に向けた挑戦 山形県農林水産部園芸大国推進課 課長 深瀬 靖

(2) 講演

訪花昆虫のちからを引き出す ～ハナバチ類研究の最前線～

国立大学法人筑波大学 生命環境系 助教 横井 智之

(3) 話題提供

①令和7年産さくらんぼの作柄と結実対策の優良事例

山形県農林水産部農業技術環境課 果樹技術主査 原田 芳郎

②ミツバチの全国の増殖状況と基本的な管理方法

山形県養蜂協会 会長 土屋 光栄

公益社団法人山形県畜産協会 業務課長 佐藤 利雄

③おろそかにしてはならない！マメコバチの繭洗浄

山形県村山総合支庁産業経済部西村山農業技術普及課 専門普及指導員 高橋 永暉

④さくらんぼ安定生産に向けた補助事業の活用

山形県農林水産部園芸大国推進課 課長補佐 安達 栄介

7 そ の 他

(1) 開会に先立って「第3回やまがた紅王大玉コンテスト」の表彰式を開催する。

(2) 大会議室前ホールにて、受粉用資材の展示を行う。